

高坂町と鷺浦町に 地域おこし協力隊員 が着任



▲高坂町で活動する高掛さん(左)と鷺浦町で活動する北野さん(右)

市は先月1日、高坂町と鷺浦町に地域おこし協力隊員をそれぞれ配置しました。隊員は最長3年の任期で、地域の資源を生かした活性化に取り組みます。

高坂町で活動するのは三原市出身で千葉県市川市に居住していた高掛智朗さん。ITや広告関連の仕事をしていた経験を生かし、地域資源のブランド化を進めていきます。

鷺浦町で活動するのは大阪府富田林市出身の北野凜央さんで、地域の住民組織などと連携し、地元のイベントの



▲グループごとにまとめた意見を発表する参加者

新図書館と広場の活用 についてワークショップ を開催

☎地域企画課

☎0848・67・6184

運営や島の情報発信などを行なっていきます。

依頼状の交付式で、高掛さんは「高坂町の自然環境や農産物などを生かし、観光による地域づくりを進めたい」、北野さんは「まずは鷺浦町のことを良く知り、将来的には自転車に興味の人に島を訪れてもらえるような仕組みを作りたい」と、それぞれ抱負を語りました。

市は、駅前東館跡地に整備する図書館と広場の活用・運営方法について市民が話し合う全3回のワークショップを開催しました。

高校生を含む延べ78人の市民が参加し、グループごとに図書館と広場の使い方やあったら良いと思う設備などについて意見をまとめました。

参加者からは「図書館には無料で使えるインターネットの環境を整備してほしい」「散歩や休憩ができ、緑のある広場にはどうか」「広場はマルシェや青空図書館など、何らかのイベントができる場所にすべき」などの意見が出されました。

市は、参加者の意見も参考に図書館と広場を活用・運営していきます。

☎経営企画課

☎0848・67・6009

料理人の熊谷喜八さんが 三原市ふるさと大使に

市と商工会議所、観光協会などをつくる三原市ふるさと情報発信事業推進協議会は先月17日、日本を代表する料理人でレストラン「KIHACHI」創業者の熊谷喜八さんに三原市ふるさと大使を委嘱しました。

熊谷さんは平成27年度から観光協会などと連携し、三原の食材を使ったメ



▲天満市長と握手を交わす熊谷喜八さん

ニユーの開発や食事会を開くなど、「食」を中心とした市の魅力発信に携わってききました。

天満市長から委嘱状を受け取った熊谷さんは「三原には自然もあり、素材もある。料理人として、それらを生かせるようにお手伝いしていきたい」と抱負を語りました。

市のふるさと大使は熊谷さんを含めて、15人と1組。ふるさと大使の皆さんには、市のイメージアップのために情報発信をしてもらったり、産業・観光などの振興のために助言をしてもらったりしています。

☎観光課

☎0848・67・6015